

2019年度 三重県中学生テニス選手権大会 (団体の部)

兼 2019年度 東海地区中学生テニス選手権三重県予選大会 (団体の部)

主催 三重県テニス協会
 主管 三重県中学校テニス連盟
 後援 (株) ダンロップスポーツマーケティング
 ディレクター 長野 耕治 アシスタントディレクター 中川 和也、田中 紘成、須藤 伸也
 レフェリー 服部 広大 アシスタントレフェリー 加藤 洋輔、飯田 敏弘、池本 圭宏、大池中、鈴鹿中
 会場 四日市ドーム (砂入り人工芝コート12面)

| 日程 | 開催日 | 種目 | コール時間 | 進行予定 |
|----|--------------------------|------|-------|--------------------------------|
| | 2018. 4. 27(土) 四日市ドーム | 開会式 | 9:00 | 男女 ベスト8まで |
| | | 男女団体 | 9:20 | |
| | 2018. 4. 28(日) 四日市ドーム | 男子団体 | 9:00 | QF, SF, F, 2位決定戦 5位決定戦, 表彰式 |
| | | 女子団体 | 9:00 | |

* 進行状況などにより、変更する場合があります

《試合に関する注意事項》

- ◇ 顧問の先生は上記の時間までに必ず選手を確認の上、大会本部まで出席を届けてください。時間が過ぎた時点で、対戦相手の不戦勝となります。選手変更は各校参加初日9時までのみとします。
- ◇ 大会進行は、オーダーオブプレイ方式(残りチームが少なくなると放送)で行います。
 - ・待機に入った学校の顧問の先生は、試合開始までにオーダー表を本部まで提出し、相手校へ渡す分を受け取ってください。若番の学校の先生は、ボールと審判用紙を持って行ってください。
 - ・前の試合が終了したら、両校選手及び顧問の先生は速やかにコートに入りオーダー交換をして試合を始めてください。オーダー交換のときに、両校キャプテンでS. C. Uを決めてください。(D2・S3・S1 か D1・S2)
 - ・オーダー交換後、遅番の学校は本部まで結果記入用紙を取りに来てください。
- ◇ 試合は、ダブルス2・シングルス3で、D2→D1→S3→S2→S1 の順で行います。QFまでは2面進行を、それ以降は3面進行を原則とします。場合により、1～5面進行もありますので、本部の指示に従ってください。
- ◇ 試合前の練習は、3分間のアップを認めます。
- ◇ 試合前にも対戦相手と握手すること。試合後は対戦相手だけでなく審判とも握手すること。
- ◇ 試合方法は、1R～F, 2位決定戦 1セットマッチ(アドあり, 6-6後タイブレーク)
5位決定戦 5ゲーム先取(ノーアド, 4-4タイブレーク)
初戦は勝敗決定後でも全対戦行います。その他は勝敗決定後打ち切りです。ただし、天候や試合状況により変更する場合があります。
- ◇ ジャッジはS. C. U方式で行います。指導者は選手に必ず指導をしておいてください。
 - ・選手は、「アウト」、「フォールト」、「(サービスの)レット」の3つのみをコールします。アウトやフォールトのときは、コールとともにハンドシグナル(手をあげること)をしてください。
 - ・審判は、その他の全てのジャッジ・コールを行います。従ってカウントは審判がコールしてください。審判は、審判用紙への記入もしてください。オーバールールは、適切に行ってください。
 - ・コールは大きな声でしてください。
 - ・ボールの落下点は最後まで確認し、責任あるジャッジをしてください。
 - ・トラブルがあり顧問で対応できない場合は、本部まで連絡してください。
- ◇ ベンチコーチは、顧問の先生1名は必ず入り、他のコートには登録選手を可とします。(各コートに1名ずつ)
- ◇ 服装は、全中規定に従います。セーター・ベスト・カーディガン・トレーナーの着用は可。(ロゴ規定厳守)
- ◇ ボールは、ダンロップスリクソン とします。(敗者ボール各校4球)
- ◇ ボーラーは、シングルスのおきのみ、各校1名ずつネット両側につけてください。
- ◇ 試合の勝者は、速やかに結果と審判用紙を本部まで届けてください。
- ◇ 対戦終了後、結果を用紙に記入し、両校顧問の先生はサインをして勝者が本部まで届けてください。

《その他の注意事項》

- ◇ 四日市ドームの開門は8時です。会場でのボールを使った練習は禁止します。
- ◇ 試合の有無が不明の場合は、必ず会場へ集合してください。(会場への確認の電話は厳禁します)
- ◇ 会場に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ってください。会場の美化に協力をお願いします。
- ◇ 応援は、節度あるものにしてください。(相手のミスへの拍手は御遠慮ください)
- ◇ 貴重品の管理は、各所属団体に責任を持って行ってください。
- ◇ 大会期間中における事故、怪我等につきましては、救急車を呼ぶなどの応急処置は行いますが、その後の責任は一切負いません。
- ◇ 自然的体力の消耗(ケイレンなど)における治療時間は認めません。速やかに試合を進めてください。
- ◇ 6/2(日)の東海大会(会場:東山テニスセンター)への三重県からの参加校枠は、男子4校、女子3校の予定です。

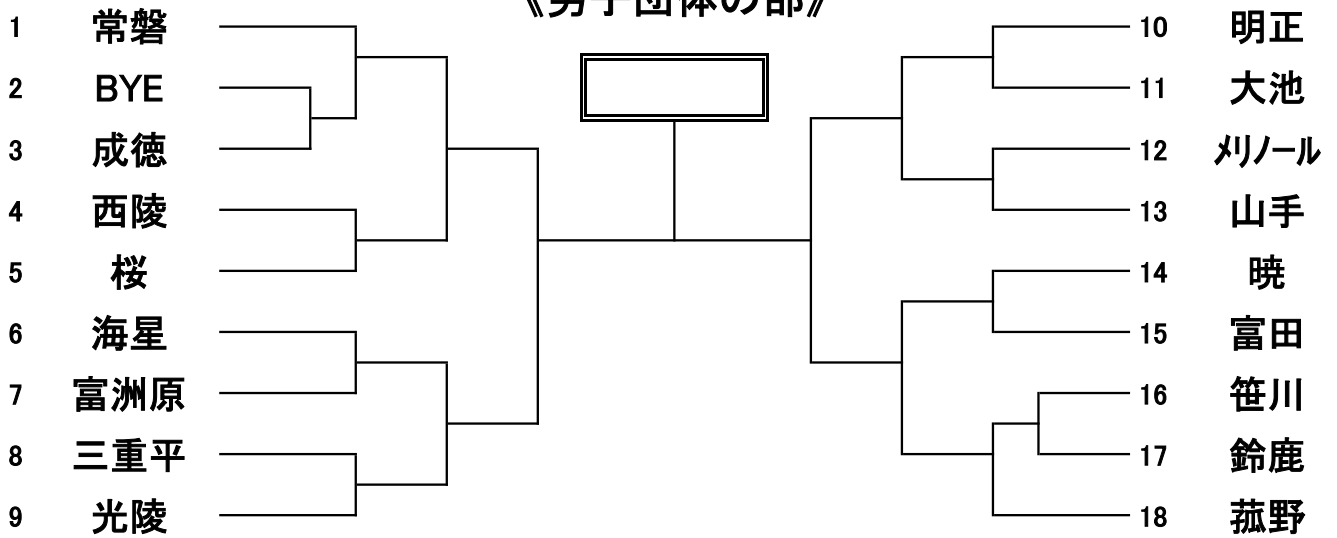
《各中学校顧問の先生へのお願い》

- ◇ 大会当日、8:30より本部前にて打合せを行いますので、各校の顧問の先生は集合してください。

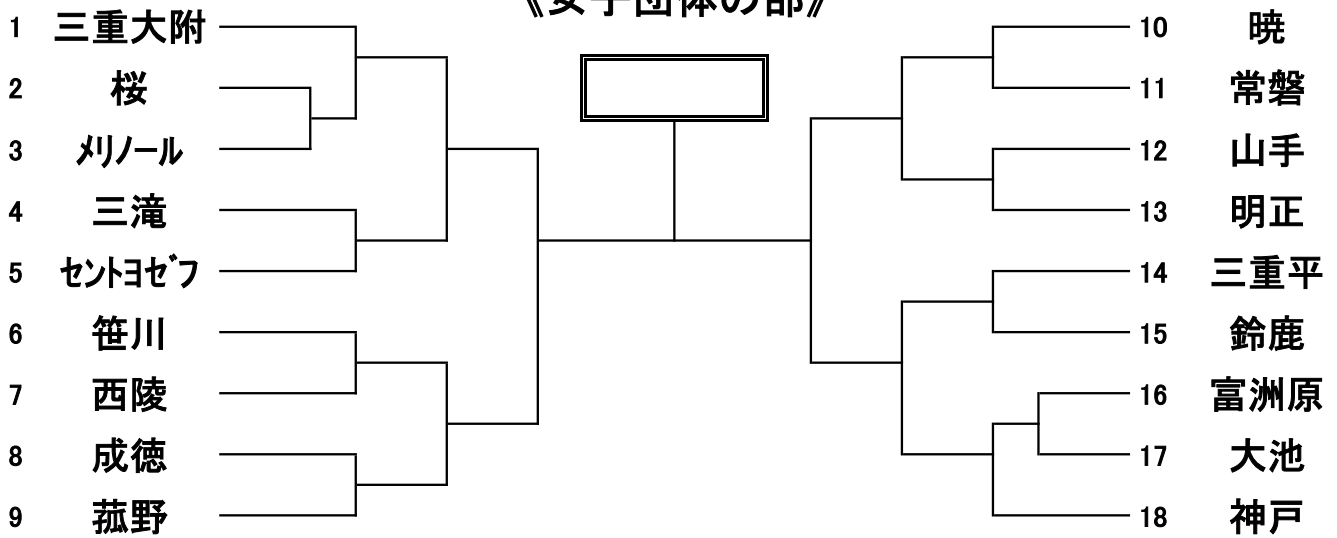
2019年度 三重県中学生テニス選手権大会(団体の部)

兼 2019年度 東海地区中学生テニス選手権三重県予選大会(団体の部)

《男子団体の部》



《女子団体の部》



☆S. C. U(ソロ・チェア・アンパイア)方式について☆

- ・選手は、「アウト」、「フォールト」、「(サービスの)レット」の3つのみをコールする。アウトやフォールトのときは、コールとともにハンドシグナル(手をあげること)をする。
- ・審判は、その他の全てのジャッジ、コールを行う。従ってカウントは審判がコールする。
- ・選手の「アウト」や「フォールト」のコールが審判から見て明らかに間違いであると判断できたときには、審判はオーバールール(訂正)をする。その際、オーバールールをされた選手が失点となる。
- ・選手が明らかなアウト(またはフォールト)のボールをそのまま返球したとき、審判は選手に代わって「アウト(またはフォールト)」をコールする。
- ・サービスがネットにふれたときには審判が「ネット」といい、その後、選手は「レット」か「フォールト」をコールする。
- ・審判が「ネット」をコールしないのに、誤って選手が「(サービスの)レット」をコールしたときは、プレーが続きポイントが終了した場合、そのポイントは成立する。そのコールによってプレーが停止された場合は、コールした選手の失点となる。そのコールに審判が同意した場合は、サービスのレット(やり直し)となる。
- ・審判は、審判用紙の記入を行う。(記入の仕方は、別紙参照)

☆ボーラー(ボール拾い)について☆

- ・ネットの両側(ポストの少し後ろ)にたつ。
- ・服装は、白などの明るい色はなるべくさける。
- ・ラケットは持たない。
- ・ファーストサーブがネットしたら必ずダッシュで拾い、ネットの両側の位置に急いで戻る。
- ・コート後方へいったボールは、ポイント終了後ダッシュで拾いにいく。このとき、反対サイドへボールを渡したいときは、もう1人のボーラーがネットぎわで中継をしてあげるとよい。
- ・コート後方のボールでも、選手のプレーの妨げになるような場合は拾いにいく。その際、審判はプレーが進まないように配慮する。
- ・選手は、安全のため、ボール拾いが終わるまでプレーを進めない。

